

1 【活動の趣旨】

本校では豊富な知識や経験をもつ地域の人々の支援を受けて生徒の学習を深めたり、生徒が地域の活動に参加して地域の人々とふれあい、関係を深めたりする地域協働合校事業を進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○ 『美しい学校づくり』

時期 9月

対象 部活動等で参加できる生徒・保護者

内容 生徒・保護者が協力して、校舎外・校舎内の清掃活動に取り組み、環境を整えた。



【美しい学校づくり】

○ 『毛筆に親しむ』

時期 9月・10月（9日間）

対象 1年生

内容 書道家を講師に迎えて芸術的な書について学び、作品づくりに取り組んだ。



【毛筆に親しむ】

○ 『ふれあい祭りに参加』

時期 11月

対象 吹奏楽部

内容 地域の「ふれあい広場」や文化祭で演奏して地域の人々と触れ合った。



【ふれあい祭りに参加】

○ 『命の大切さを学ぼう』

時期 1月

対象 3年生

内容 助産師さんを講師に招き、生命の誕生や生命の大切さについて学んだ。



【命の大切さを学ぼう】

3 【実施に当たっての工夫】

事業のねらいやどんな力を生徒につけさせたいかについて講師の方々との打ち合わせを大切にしている。事業によっては、事前に講師に来ていただき打ち合わせの時間を持つようにしている。

4 【事業の成果】

- ・例えば1年生の『毛筆に親しむ』では、筆以外の割り箸や段ボールなどを使い芸術的な作品作りをする等、地域の方の様々な支援により、意欲的に取り組むことができた。3年生の『命の大切さを学ぼう』では助産師さんの講演や映像から生命の大切さについてさらに理解を深めることができた。
- ・地域のふれあい祭りや文化祭で演奏を披露することで、地域の人々と触れ合い、地域の一員である自覚につながった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・学年の取り組みの予定変更により、予定していた事業がなくなったり、予定していた講師の方の都合が合わないことがあったり、計画通りに実施できないことがあった。
- ・例年お世話になる講師の方もおられるが、生徒の学びに広がりをもたせるためにも様々な活動内容を考え、その活動に応じた講師の方を探していく努力が必要である。